

# ベリヤ式犯罪：ねつ造されたスキャンダルの背後に隠された

## アジェンダ

### アメリカ共和国の未来は、ブレイジー・フォード事件の結果によって決定する

【訳者注】これによって、今回の半狂乱のような中傷事件のキャラクリがよくわかる。民主党のやり方が、スターリン配下のベリヤによく似ているということは、現米政府がスターリン体制に似ているということであろう。ここには言及されていないが、もう一つ、アメリカがベリヤに似ているのは、彼が「史上最悪のロリコン犯罪者」と言われていることである。

[https://tocana.jp/2017/12/post\\_15317\\_entry.html](https://tocana.jp/2017/12/post_15317_entry.html) これは今日、定着している言葉で言えば「ペドフィリア」であり、彼の場合、個人的なものであったが、現在は「文化」とまで言われ、カバノーに暴かれることを彼らが最も恐れている、国家的組織犯罪である。

36年も前の高校での、性的加害者と被害者と言われている2人の公聴会での供述は、現在、終わったはずであり、最高裁判事への承認投票はほどなく始まるようだが、これを読めばわかる通り、国家そのものが犯罪者であるアメリカで、正しい裁定ができるはずはない。彼らは、権力を持ったトランプの分身が、もう一人増えることを何としてでも阻止するだろう。私はこのキチガイ沙汰が最悪の結果に終わる場合を想定し、こんなやり取りを夢想している：――

――お前は36年前、高校で、クリスティーン・フォードという女子生徒を襲ったろう？

――はい、なんとか。

――「なんとか」とはどういう意味だ、はっきり言え。

――ほんとうに、はっきり言ってよろしいですか？

――そのときの状況を、隠さず詳しく話せ。

――目をつぶり、鼻をつまんで、なんとか完了しました。

――何を言うか！ ばか者！

――そんなに怒るなら、ご自分で試してみられたらどうですか。なかなかやれるもんじゃありませんよ。それに、あなた方ペドファイル集団のように、幼い子どもをやる勇氣はありませんでしたよ。さすが先輩、敬服しています。

SOTN (State of the Nation)

September 25, 2018



ヨシフ・スターリンの秘密警察のトップだったラヴレンチー・ベリヤが言った有名な、

**どんな人間であろうと、俺が犯罪者にして見せる**

**(Show me the man, and I will show you the crime)**

という言葉は、民主党の中心的な組織原理を要約している。

民主党全国委員会の名誉委員クラスの、どこか非常に高い所に意思決定者たちがいて、この者たちが、誰であろうと、彼らの文化マルクス主義アジェンダにとって危険な人間を、犯罪者（通常は性犯罪者）に仕立て、滅ぼすことを決定する。

これら職業的な人格暗殺者にとっては、その告発が明らかに虚偽であろうと、完全に証明不能であろうと、問題ではない。

肝心なのは、狙われた人物が、ワシントン DC の政治的競技場から除かれることである。

### 共和党にとって彼らは懲罰

民主党は今、誰でも、共和党の大統領によって指名してほしくない人物を、見え透いた虚偽の悪口や中傷によって汚すということまでやっている。

連邦最高裁判事候補者のブレット・カバノー (Brett Kavanaugh) は、最新の共和党の犠牲者であるにすぎない。ただ彼はまだタオルを投げ込まれてはいない。

民主党は 1991 年にも、最高裁判事候補 Clarence Thomas に対して、同じ攻撃の戦術を用いた。その時には Anita Hill が、当て逃げ女として送り込まれて、今日のクリスティーン・ブレイジー・フォードと同じ、人格暗殺者に指名されている。

この民主党のやり方は、何十年も前から、彼らの好みの戦術だったことを理解すべきである。しかし現在、大きな違いは、彼らがこの卑劣な戦略を、きまって公共のために役立つ候補者に使っていることである。

左翼は、誰を、あるいはどのように、自分たちの政治的な餌食を滅ぼすかは、気にしていない。ひとたびある人物が、NWO のグローバリスト計画に邪魔になると判断されれば、その人物が目標になる。

## 民主党は弁護士の方

自明なことというべきだが、民主党は常に、ほとんどの弁護士が好んで、政治的関係を結ぶ相手である。金持ちの企業の弁護士でさえ、しばしば民主党に肩入れするのは、彼らが銀貨 30 枚で簡単に動かせるからである。

大きな職業集団としての弁護士階層は、低級な中でも最も低級な者であることによって、評判を稼いできた。何と云っても、それが彼らの仕事である。彼らは餌をあさる最下層の者たちである。彼らは生活のためにウソをつくことで、巨額のカネを稼いでいる。彼らのすべてではないが、その大多数がウソを取引の対象にしている。

そう理解するなら、ジョージ・ソロスに払ってもらっている弁護士が、いかに速やかに、誰でも、深刻な名誉棄損を狙われた人物に、何らかの泥塗りを工夫することができるかを理解するのは容易いだろう。

**「ソロスは内乱を防止するために、逮捕、起訴、投獄しなければならない」**

<http://stateofthenation2012.com/?p=81437>

ベリヤが言ったように、彼らは「どんな人間であろうと、きっと犯罪者にして見せる」。ソロ

スの給料名簿に入っている超リベラルの弁護士ならば、例えば、一人の“ブレット・カバノー”を引き下ろすためには、人（人格）を殺してでも、合法的な当て逃げをするだろう。これら弁護士まがいの傭兵どもは、カネを愛するだけでなく、彼らの政敵に重い打撃を与える機会を楽しんでいる。

彼らは、誰をでも、当人が犯していない犯罪に「はめる」ことができるだけでなく、虚空から犯罪をひねり出す。すると証人が続々と現れてきて、証言をするが、それは報酬のために喜んで虚偽の証言をする者たちがいるからである。

民主党員たちが、彼らの人格殺人の組織を洗練させて、科学と芸術の両方の域にまで高めたことは確かである。彼らは国家全体に張りめぐらせたネットワークをもっていて、これが必要な人格殺人に適合しそうな人間に、つながるようになっている。仕事の性質から、彼らは、あらゆる司法世界の、ほとんどの汚いうわさ話を知っている。それが彼らの仕事だからである。・・・・・・・・

その結果、アメリカのウルトラ・リベラルたちは、封筒の容量を押し広げ、明らかにもはや限度を超えたところまで来ている。彼らは人格暗殺において情け容赦をしない——彼らの侮辱の対象が誰であろうと。彼らがそのような毒と悪意をもって、大統領をさえ追いかけて回すのなら、彼らが攻撃しない誰がいるだろうか？

要するに、「我々全員がブレット・カバノーなのだ！」

<http://stateofthenation2012.com/?p=104189>

そして、良心をもつ人々が、それを理解するのが早ければ早いほど、この国を奪った者たちから、より速やかにそれを取り戻すことができる。なぜなら、今、すべてのアメリカ人が、カバノーの受難と同じ、政治的な意味の個人的崩壊の憂き目にあっているからである。たとえ政治的にかかわっていなくても、誰一人、免疫を持つ者はいない。彼らはあなたを、オフィスで、教会で、商店で、ボールゲーム場で、どこでも逮捕することができる。何でもよい、こうした文化マルクス主義者たちは、彼らの敵を無力化し、真理を破壊するためには、必要などんなことでもするだろう。

<http://stateofthenation2012.com/wp-content/uploads/2018/09/maxresdefault-4.jpg>

今回ののは、古典的な当て逃げ事件である。「深層国家」犯罪者は、常に、暗殺者がこの目標を殺すことを意図してきた。しかし彼女には危害が及ばないように、できる限りのことをしようとしている。クリスティーン・ブレイジー・フォードが露出されるほど、この派手な芝

居は崩れ落ちるだろう。

(以上前半、後半は訳すか否か未定です)